

平成25年行政事業レビューシート

( 警察庁 )

<b>事業名</b>	電波を活用した安全運転支援システム及び簡易版安全運転支援システムの実証実験		<b>担当部局</b>	交通局		<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成24年度～平成25年度		<b>担当課室</b>	交通規制課		交通規制課長 和田 昭夫			
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>政策・施策名</b>	安全かつ快適な交通の確保 3 道路交通環境の整備					
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	-		<b>関係する計画、通知等</b>	新たな情報通信技術戦略					
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	警察が推進する安全運転支援システム(DSSS)について、路車間通信に電波を併用するシステムの導入を検討するとともに、より安価に導入できる簡易型装置の設置・運用の検証事業を行う。								
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	DSSSのうち、刻々と変化する車両や人の交差点通行状況に応じた情報提供が必要となる「右・左折衝突防止支援システム」や「歩行者横断見落とし防止支援システム」をより効率的・効果的なものにするため、路車間通信に電波を併用するシステムの導入を検討する。 また、平成22年度にパイロット事業として実用化されている「追突防止支援システム」等について、警察本部の交通管制センター中央装置と接続しない簡易版システムを実験的に整備し、中央装置の増設改修なしにDSSSの整備を可能とするための仕様を確定する。								
<b>実施方法</b>	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付	その他(予算配賦)		
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	予算 の 状 況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求			
		当初予算	-	-	115	0	-		
		補正予算	-	-	0	0			
		繰越し等	-	-	0	0			
	計	-	-	115	0	-			
	執行額	-	-	110					
執行率(%)	-	-	96%						
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)	
	(成果目標) 電波を活用したシステム及び簡易版システムの実証実験			成果実績 報告書数	-	-	0	1	
	(成果指標) 効果検証は平成25年度に実施予定			達成度 %	-	-	0%		
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	システム整備数			活動実績 (当初見込み) システム数	-	-	2	( 0 ) ( 2 ) ( 0 )	
<b>単位当たりコスト</b>	110(百万円/整備経費1式)			算出根拠	整備経費総額(平成24年度執行額)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	計	0	-						

事業所管部局による点検										
	項目	評価	評価に関する説明							
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		H21年度に実施した交通安全に関する国民の意識調査(内閣府)によると、国民の9割近くの人が、道路交通事故をゼロにすべき、あるいは、大幅に減少すべきと考えている。との結果が得られており、国民の道路交通事故のない社会を目指すニーズは高く、安全運転支援技術の確立は優先度の高い事業である。							
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。									
事業の効率性	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		調達にあたっては、経済性、効率性に十分に検討した上で、官報公告を含め一般競争入札を実施しており、競争性を確保している。							
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。									
	受益者との負担関係は妥当であるか。									
	単位当たりコストの水準は妥当か。									
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。									
事業の有効性	費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		簡易版安全運転支援システムの実証実験は、警察本部の交通管制センター中央装置との接続を必要とせず、中央装置の増設改修なしとすることで、より低コストでの整備を可能とした。また、実証実験施設はITS世界会議東京2013のショーケースとしても活用する。							
	不要率が高い場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-								
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。									
重複排除	活動実績は見込みに見合ったものであるか。									
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。									
点検結果	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業番号</th> <th>類似事業名</th> <th>所管府省・部局名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	事業番号				類似事業名	所管府省・部局名			
事業番号	類似事業名	所管府省・部局名								
点検結果	1 支出先・使途の把握水準・状況 本事業に係る契約については、都道府県警察に予算配賦しており、執行状況の報告を受けていることから、支出先・使途を把握している。									
	2 見直しの余地 本事業は、安全で快適な交通環境を実現する施策を検討する上で有効な実証実験であるが、更なる低コストに向けて仕様を見直す余地がある。									
外部有識者の所見										
本実証実験の効果検証を適正に行い、仕様の見直し等更なるコスト削減方策を検討すること。										
行政事業レビュー推進チームの所見										
現状通り	平成25年度において契約差金等にて効果検証について予算措置するなど、本実証実験の効果検証を適正に行い、仕様の見直し等更なるコスト削減方策を検討すること。									
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況										
現状通り	今後同様の事業を行う場合、本実証実験の効果検証を適正に行い、仕様を見直す等更なるコスト削減方策を検討する。(事業の終了)									
備考										
特になし。										
関連する過去のレビューシートの事業番号										
	平成22年	-	平成23年	新24-4	平成24年	新24-4				

警察庁  
110百万円

〔電波を活用した安全運転支援システム及び簡易版安全  
運転支援システムの実験の委託に要する予算を配賦〕

〔予算配賦〕

A: 警視庁  
98百万円

〔実証実験施設の整備を委託〕

物品購入等  
〔一般競争入札等〕

C: 民間会社(3者)  
98百万円

〔実証実験施設の整備に必要な  
資機材等の購入及び機器  
設置工事等の実施〕

〔予算配賦〕

B: 神奈川県警察  
12百万円

〔実証実験施設の整備を委託〕

物品購入等  
〔一般競争入札等〕

D: 民間会社(2者)  
12百万円

〔実証実験施設の整備に必要な  
資機材等の購入及び機器  
設置工事等の実施〕

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

**費目・用途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と用途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.警視庁			E.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
予算配賦	電波を活用した安全運転支援システム及び簡易版安全運転支援システムの実験の委託に要する経費	98			
計		98	計		0
B.神奈川県警察			F.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
予算配賦	電波を活用した安全運転支援システム及び簡易版安全運転支援システムの実験の委託に要する経費	12			
計		12	計		0
C.住友電気システムソリューション(株)			G.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
物品購入費	安全運転支援システム用中央装置増設機器及び端末装置の買入れ	42			
委託	安全運転支援システム中央装置ソフトウェア改修等委託	36			
計		78	計		0
D.オムロンソーシアルソリューションズ(株)			H.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
物品購入費	路車協調型DSSS用交通信号制御機等の購入	7			
委託	路車協調型整備工事設計業務委託	1			
計		8	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	警視庁	予算配賦	98		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	神奈川県警察本部	予算配賦	12		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	住友電工システムソリューション(株)		78		
(内訳)		安全運転支援システム用中央装置増設機器及び端末装置の買入れ	42	1	
		安全運転支援システム中央装置ソフトウェア改修等委託	36	1	
3	三球電機(株)	安全運転支援システム端末設置工事	19	2	
4	(株)トラスト	安全運転支援システム設置工事設計委託	0.4	1	
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D.

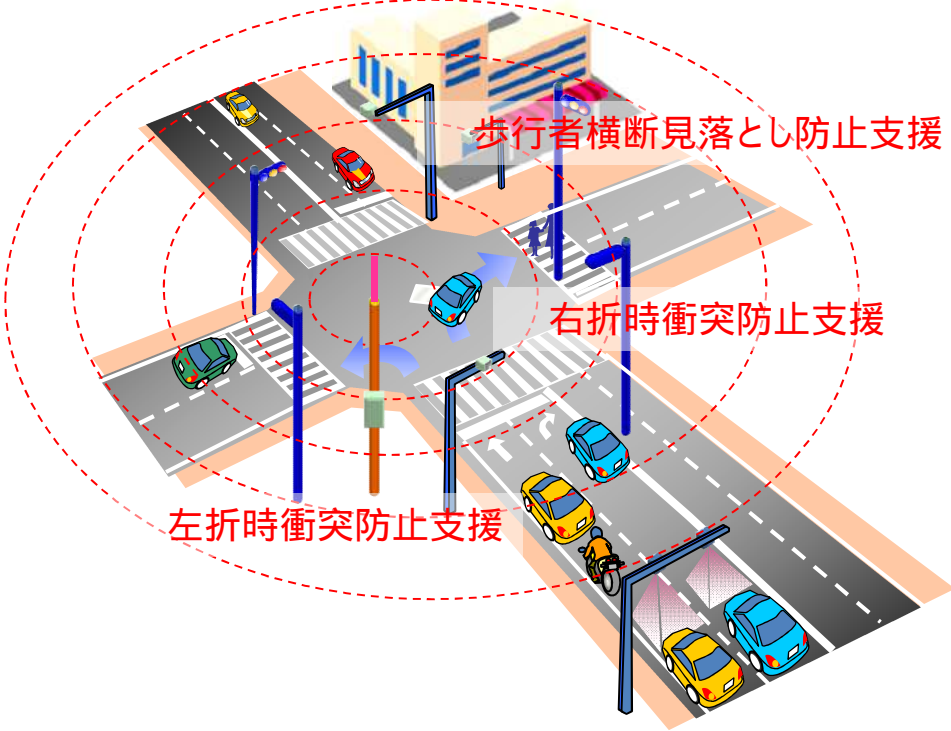
	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	オムロンソーシャルソリューションズ(株)		8		
(内訳)		路車協調型DSSS用交通信号制御機等の購入	7	2	
		路車協調型整備工事設計業務委託	0.7	2	
2	三球電機(株)	路車協調型DSSS整備工事	4	1	
3					
4					
5					
6					
7					

8				
9				
10				

# 電波を活用したDSSS・簡易版DSSSの実証実験

## 電波を活用したDSSS

左折時衝突防止支援  
右折時衝突防止支援  
歩行者横断見落とし防止支援

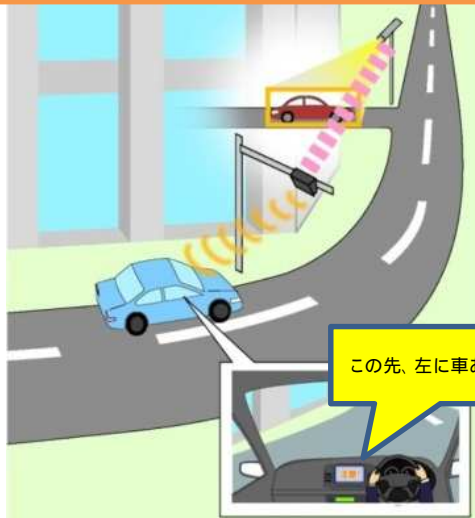


DSSS : Driving Safety Support Systems  
安全運転支援システム

## 簡易版DSSS



交通管制センターシステムの  
中央装置と接続不要  
↓  
中央装置の増設改修なしに  
一式から整備することが可能



(例) 出会い頭衝突防止  
支援システム